

### 先人の座右の銘

若さとは人生の一時期のことでなく心の在り方のことである。。



十仁・ベルジュバンス、ヘアダイ、ストレートのヘア&フェイスサロン

# 美容室ベル

TEL 077-524-0674

〒520-0056 大津市末広町 8 - 13  
http://www.bell-o2.com

2014/8/8発行 4号

## 行ってきました

### クラブハリエ・ケーキバイキング

「守山ハリエ館」・・・イギリスの田園風景をイメージした守山ハリエ館

建物のガラス越しにパティシエたちがケーキ作りをしている姿がみえます。ティールームでは毎日ペーストリー、ブッフェ(ケーキバイキング)が楽しめます。

・十時オープン(予約受付開始は九時より)、  
・十六時ラストオーダー。

先着順なので時間指定は不可です。私が行ったときにはすでに、数組の予約者がオープンの時間まで待機中でした。十時過ぎオープン名前を呼ばれて店内へ案内されます。制限時間は一時間三十分ケーキを楽しむには十分な時間です。テーブルには焼菓子やパンガラスケースの中にはロールケーキや、季節のタルトがずらりとならびフロアの中には焼き立てバームクーヘン。飲み物は、ソフトドリンクが各種。

お客さんは九十パーセント女性と時々カップルと七十代のグループ、老若男女のお客さんです。

クラブハリエでは毎月内容が変わります。今月はロールケーキフェアでした。季節ごとに内容が変わるため、何度来ても飽きることなく楽しむことができます。



### 我が家の定番料理

～おかずに困ったとき必ず作る料理～

#### 鈴木さんちの定番料理 ～ソーメンすし～

ソーめん・・・堅めに湯がいて、サラダオイルを少し振りかけておきます。  
たまご・・・厚めに焼いて、せん切り  
きゅうり・・・せん切り  
かにかまぼこ・・・ほぐしておきます  
のりにソーメンをおきたまご・きゅうり・かにかまぼこをならべて巻きます。切ってお皿に盛り、ソーめんつゆ、又は天つゆでいただきます。

海苔巻きにすることで、味わいかわります。ソーめんの代わりにそばでもオイシイですよ。お試しください。

### 【町の灯り】

頑張るゴッド・マザーを紹介しします。

JR大津駅は再開発で大きく変わるうとして、旧街道の寺町通りの両側はさまざまな店があり、創業百年という店が多い。

吉江酒店も百年を超えて、今四代目です。三代目のご主人を亡く



し店は終わりにしようと思っていたが、お客さんや子供たちに背中を押されて四代目としてがんばっている。「専業主婦だったためお酒のことは何もわからないのですよ」とおっしゃる。店を開けるとふるいお客さんが立ち寄ってくださり店はサロンとなります。お互いに元気のキャチボールをしています。店の一角はワインコーナーでおしゃれにディスプレイされ産地や飲み方が丁寧に書かれています。これは航空会社に勤めてロンドンに住んでいる長男が帰国して手伝ってくれるという。これからお酒のこと・ワインのことを勉強したいとおっしゃる顔は輝いています。ワイン好きの私は夢想します駅前が変わり吉江酒店に世界のワインがずらりと並んでいる。嬉しいですね 四代目頑張って・・・エールを送ります！

### 【パソコン博士のデジモノ講座】 4.フェイスブック

先日5年以上ぶりに異業種交流会に参加した。約40名ほどの参加者を観察していると殆どの方がスマホかタブレット端末を手にしている。そのほぼ全員と名刺交換や情報交換を行ったのだが・・・フェイスブックが始まる以前と以後では交流の仕方が随分違うと感じた次第だ。名刺を切らしてしまった方などは「フェイスブックで検索して友達申請してもらえたら後で繋がります」といった具合だ。「普段から良く知っていますけど、初めてお会いできましたね」というものもある。フェイスブック上で先に友達になったケースなどだ。

フェイスブックとは、現実の知り合いとインターネット上でつながり交流ができるサービスだ。利用例としては、思ったことを共有する 撮った写真を共有して友達に見せることができる イベントの連絡を通知できる 個人間でメッセージを送ることができる、等が挙げられる。これらに対して「いいね！」などと反応したりコメントしたりしてゆるやかな交流を楽しむ。たくさんの友達から「いいね！」してもらえると嬉しくて書き込みの励みになる。

その日の交流会参加者は老若男女問わず、お勤めの人、学生、起業家、退職されて第二の人生に何かを始めようとする人、そういった人達ほとんどが、一期一会で終わってしまうがちだったものを、フェイスブックを通じていつでも繋がる人脈作りの為に活用している。そして交流会が終わってからが大変で、その晩から一日二日は、フェイスブックで名刺交換した人の名前を検索し、先日のお出会いのお礼メッセージを添えて友達申請に精を出す。めでたくそれらが終わると相手の日常がゆるりと伝わってきて、次に出会った時に会話が弾むという寸法だ。フェイスブック上での友達が1000人や2000人という人までいる。そういうのが本当に友達なのかどうか、という議論はさておいて、何かと小耳にはさむフェイスブックという世界を覗いてみてはいかが？

### 編集後記

一言をだして、気がゆるみました。暑さもありません。「街の灯り」をお願いしていた方が大変な恥ずかしがりやでどうしても顔写真は嫌だとおっしゃるので困りました。後姿は、手の平は？とかいろいろアイデア いただきましたが・・・お店の写真でおちつきました。